

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/12 (金) 【新型コロナウイルス感染症関連】	1	11 石井 勢三	1、緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症への三豊市の対応は	今後想定される第2波に対する対策について
			2、新型コロナウイルス感染症に対応する三豊市の経済対策について	(1) 事業収入が激減した事業者に対する、さらなる給付金・補助金の計画について (2) 収入が減少し生活困窮に陥った方に対する対策は。
			3、新型コロナウイルス感染症に対応する三豊市の学校授業について	(1) 今後の校内での感染予防について (2) これまでの学校休校のための授業時間の不足について (3) 5月11日にオンライン授業が実験的に行われたが、現状と課題、今後どう生かすのか。
	2	1 近藤 武	1、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について	国から1兆円の補正がついた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業、三豊市でも有効活用される中で、国は2次補正で2兆円の増額予算となる、三豊市として更なる取り組み、有効な施策をどのように考えているのかを質問する。
			2、新型コロナウイルス感染症に対する三豊市児童・生徒の心の健康やケアについて	新型コロナウイルスの拡大により学校生活が行われていなかったために、児童・生徒達は今現在も不安な毎日を送っている。また、授業計画の見直しで今から児童・生徒たちは相当な負担になると考えられる、授業時間も消化しなくてはならないが、子供たちの心の健康が心配である、これからどのように学校生活を送り、心の健康を守ってケアしていくのかを質問する。
			3、新型コロナウイルス特別定額給付金について	新型コロナウイルス定額給付金は住民基本台帳に記録されている人が対象となっているが、妊娠中の子供に対する給付は対象外となっている。母子手帳もあり、これから三豊市民として生まれてくる子供に対しても三豊市として給付するべきではないのかを質問する。
	3	9 込山文吉	1、コロナ禍克服施策について	(1) コロナウイルス感染症の影響で収入が下がった場合などを対象に、国民健康保険税・後期高齢者医療・介護保険の保険料が減免される。しかし、本定例会での条例改正や規約についての提案は行われていない。保険税、保険料減免についての考えを聞く。 (2) 国の第2次補正案に、「家賃支援を含む事業継続や雇用維持対応」が地方創生臨時交付金に含まれた。家賃支援に対する本市の考えを聞く。 (3) 医療機関や通所介護などの「在宅介護」現場では、いまだ緊迫状況が続いている。 また、コロナ禍による経営悪化も叫ばれている。市内医療機関・介護事業所支援の考えを聞く。 (4) ウイルスへの感染リスク回避への時限的特例措置で、オンライン診療が解禁された。離島や半島・山間部を持つ本市には有効である。導入の考えを聞く。
			2、新型コロナウイルス感染症対策における、学校再開後の学びの保障について	(1) GIGAスクール構想が年度内に前倒しになった。 ネットワーク回線の構築にあたり過剰設計にならないように、文科省のアドバイザー事務局を活用してはと考えるが、考えを聞く。 (2) 学校は再開されたが、全面再開までは時間がかかると思われる。オンラインを活用し3密を防ぐとともに、学びの質の向上につなげてはと考える。考えを聞く。 (3) 北九州市の小学校で複数の児童が感染した。三豊市内の学校で感染者が出た場合の対応を聞く。
			3、新型コロナウイルス感染症対策における、災害に備えた避難所運営について	(1) 災害時に備えて内閣府より避難所での新型コロナ感染拡大を防ぐための通知が出された。 十分な換気や、発熱している人がいる場合の専用スペース確保などと、通常よりも可能な限り多くの避難所開設を求めている。三豊市の現状と課題を聞く。 (2) 避難所内感染が起きた時の対応と対策を聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/12 (金) 【新型コロナウイルス感染症関連】	4	12 岩田秀樹	1、新型コロナウイルス感染流行「第2波」を防ぐため、「受動的な検査」から「積極的検査」へ	PCR検査センターの設置・維持に必要な予算を確保し、PCR検査の対象を大幅に広げ、感染を早期に発見、濃厚接触者などの検査ができる体制にする。医療・介護福祉施設の職員、入所者、入院者などの優先的な検査の実施について。
			2、エアコンの設置されていない教室での授業について	三豊市は、普通教室のエアコン設置は県内他自治体に比べ早かった。しかし、特別教室での設置は遅れている。新設校以外は部分的にしか設置されていない。夏の授業に使う予定の教室に設置することはできないのか。
			3、授業実施にあたり、「ガイドライン」の実施について	長期の休校による、小中学生の学習の遅れと格差の拡大、心身のストレスは大きな問題である。国の補正予算案の教員加配は3,100人で全国の小中学校10校で1人しか増えない。 教員がいなくて、教室がいっぱいだが分けられない学校、教室がなくて、授業を分けていない学校、授業のできる先生を短期的にでも採用すべきである。
	5	17 三木秀樹	1、新型コロナウイルス「第2波」に備え、市役所に市民の孤立、失業を防ぐための「不安解消及び困窮者等」の相談総合窓口を設置してはどうか	自民党政府が推し進めた、新自由主義経済下での自己責任論施策は異常な格差・競争と同時に多面的規制緩和により、20年前と比べて公衆衛生の拠点である「保健所」は半減され、非正規労働者がすべての働く人の40%を占める状態が創られた。その結果、市内でもコロナ感染症対策の影響で非正規労働者等に「解雇、雇い止め」が起こり、その大半は「低所得者、無貯金生活者」(1万人前後いると思われる)で「補償なき自粛」に生存の不安を抱えている。 過去の「前例にとらわれず」に (1)「解雇、雇い止め」にあった人々の命を守るための相談総合窓口を本庁、支所に設置。 (2)労働組合関係者も「救済活動」を展開中。関係OB等が支援する「場所」も設置しては。 (3)長期の自粛による家庭内のDV、児童虐待等の対策をすすめるため、現在の市の「子育て世代包括支援センター」の増員、拡大を行うべきではないか。
			2、「第2波」対策その1 誰もが受けられるPCRセンターの設置を	「第1波」で丸亀市、高松市、さぬき市・東かがわ市の3か所にPCRセンターが設置された。 第2波に向けて、検査時点で「受けた人が感染しているかどうかコロナウイルスの遺伝子を調べる」事のできるPCRセンターを三観医療圏で設置してはどうか。
			3、「第2波」対策その2 全ての学校等に瞬時に検温できる「体温センサー付機器」の設置を	(1)幼保、小中、放課後児童クラブの各「入口」に体温センサー機器を設置し、コロナ騒動以前の「従来通りの集団学習の場」を保障する。(国、県の対策はエビデンスもなく、授業中と休憩中の対応等にも無理がある。)市内の文化活動の拠点である「公民館」にも配置を。 (2)国、県のエビデンスのない「感染対策」は、先生等に多大な不安と共に重圧となっている。 体温センサー付機器を設置することにより、先生等のストレスの解消を図る。
			4、「第2波」に向けて、母性健康管理措置(コロナ感染症に対する)の実行、普及に努めること	国による「新型コロナウイルス感染症」に関する施策。妊娠中の女性労働者が新型コロナウイルス感染症への感染の恐れ等による心身のストレス解消を図るための措置。三豊市は、妊娠中の女性労働者が主治医、助産師からの指導を受け、その旨を事業主に申し出たことを知り得たときは、法の主旨を徹底するため、事業主に必要な措置を行うこと。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/15 (月)	6	22 横山 強	1、グランドデザイン構想施策の失策について	<p>(1)行政が幼稚と言いたくなるような施策で、讃岐造船跡地を水族館事業に約2億円、その失敗の後、ドック周辺や本庁舎周辺再開発計画についても、全体調査せずに場当たりの発想による、グランドデザイン等、妄想的な施策を委託業務による損失金3,370万円を、市民の税金の無駄遣いばかりした計画としたこれまでの問題点等を伺う。</p> <p>(2)3月の一般質問でコンサルタントに依頼したグランドデザイン等による報告書に一部誤りの部分を指摘とした、調査結果を審議監(前政策部長)に伺う。</p> <p>(3)グランドデザイン作成後の、ドック2基調査のあり方と、解体経費の問題点等を伺う。</p> <p>(4)ドック2基の解体費13億円の調査結果による内訳詳細と、高額な解体費になっても、今後グランドデザインとして、計画に変更はないのかを伺う。</p> <p>(5)ドック2基の解体調査は、グランドデザイン作成する前に、讃岐造船跡地全体調査せずに無能と言いたくなるような計画をした市長、綾審議監(前政策部長)に対し、市民の税金の無駄遣いと、損失責任として、讃岐造船に投入した調査費、職員の人件費、グランドデザイン等失策による損失金1億3,370万円を、市民に税金を返還をする責任を伺う。</p> <p>(6)1～5まで質問とした、市民の税金を無駄遣いとした施策に取り組みとした当時政策部長、現審議監が三豊市政に必要なのかを伺う。</p> <p>(7)讃岐造船跡地は、今回調査によるドック2基の解体は取りやめ、当初計画を破棄し、すべて、周辺の公共施設の駐車場に整備とし、活用とすべきではないのか、また本庁舎周辺再開発計画は、実施するべきではないとする指摘等の質問を広範囲に伺う。</p>
			2、詫間庁舎周辺の整備について	<p>(1)詫間町庁舎付近の整備計画とし、にぎわい創造事業としての変更するべきではないのかを伺う。</p> <p>(2)庁舎付近を整備するについて、再度グランドデザインと称する計画を業者に委託とするのかを伺う。</p> <p>(3)庁舎周辺の解体整備と各公共施設の新設とした整備時期と、新たに、にぎわい創造事業としての取り組み等について広範囲に伺う。</p>
	7	4 田中達也	1、香川県ネット・ゲーム依存症対策条例に対する三豊市の対応について	<p>4月に施行された同条例には、「学校の責務」「市町の役割」が明記されている。しかしながらその内容及び制定過程に対して多くの問題点が指摘されており、慎重に取り扱うべきと考える。そこで、三豊市としてどのような考えを持っているのか、下記の項目について問う。</p> <p>(1)「学校の責務」についてどのように対応するのか。</p> <p>(2)「市町の役割」についてどのように対応するのか。</p> <p>(3)条例施行までの経緯に対する風評が及ぼす、市が推進する各種施策への影響について</p> <p>①関係人口・移住定住</p> <p>②ふるさと納税</p> <p>③MAiZMの設立目的である産業集積</p> <p>(4)eスポーツについて</p> <p>①キャリア形成の面からどのようにとらえているか。</p> <p>②eスポーツは「スポーツ・文化芸術大会出場補助金・激励金」の対象になるか。</p>
			2、GIGAスクール構想について	<p>GIGAスクール構想の達成が令和5年度から今年度に前倒しされることとなり、市教育委員会でも整備への取り組みを始めていると伺っている。費用対効果を最大に高めるためには、子どもたちによる端末利用の制限を極力緩和し、学校・家庭などあらゆるシーンでの活用を認めることで、デジタルネイティブ世代特有の自由な発想を促すことが必要と考える。</p> <p>具体的な整備方針と、運用方針を問う。</p>

発言通告書の要旨(一般質問)

令和2年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/15 (月)	8	3 湯口 新	1、農家の大型特殊免許取得について	法律改正によりトラクターなどにも大型特殊免許が必要となり、その免許取得に困っている農家が多くいると聞く。対策は。
			2、見えない貧困対策について	(1) 小学校・中学校における見えない貧困の対象者の把握について (2) 給食の取り扱いについて (3) 三豊市の食育に対する考え方の統一について
			3、電子図書館の導入について	電子図書館導入の検討はしているのか。また、していないのであればすべきではないか。
	9	13 坂口 晃一	1、組織、機能の強化策を問う	(1) 公共施設の利活用の対策について 今の計画では成果が出るか。成果の目標を示せ。 (2) 人口減少の対策を問う。 (3) 職員増員の目的は何か。
			2、市立病院建設について	(1) 今回発表の総合防災マップの中で、現場所での安全性保障はできるか。 (2) 今回の場所決定による地盤強化費はいくらか。建設、設計の業者との保証期間を含む、契約内容を示せ。 (3) 永康病院の1年間の経営実績を問う。そして問題点はないか。 (4) 今後、病院の変更、事業費の変更は、絶対はないか。